

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】 3【そなえる】	⑪【ボランティア】 ⑭【復旧・復興へのあゆみ】 ⑮【東日本大震災津波の様子と被害の状況】	特別活動 生徒会活動 (5) 社会参加

- 【題材】 1 「現地ボランティア活動」
2 「現地ボランティアの報告と決意表明の集会」

- 【対象】 1 希望生徒85名
2 全校生徒420名

【実践の概要・詳細】

実施時期	事業内容
7月中旬	被災地支援『ボランティア啓蒙』活動 <input type="radio"/> 募集PR活動 <input checked="" type="radio"/> パネル展PR活動 「被災地の当時の様子」 「被災地の現在の様子」 「今、私たちできること・必要とされていることは？」 <input type="radio"/> 集会PR活動
夏休み中 ↓ 8月5日 (火)	被災地支援『現地ボランティア』活動 <input type="radio"/> 大型バス二台 <input type="radio"/> 陸前高田方面へ <input type="radio"/> 活動内容 ① 語り部講話 (陸前高田観光ガイド部会) ② 畑作り, 花植え, 草取り等 苗持参 (陸前高田カモメネット) ③ 被災者との交流(予定)
3月上旬	3・11集会『被災地現状報告と決意表明』 <input type="radio"/> 集会内容 被災地の現状報告(前期生執行部) 現地ボランティア活動の報告(前期執行部) 企画運営(後期執行部) 今後の活動の決意表明(後期執行部) <input type="radio"/> 集会の方針 前期の活動を、後期が【関わりを引き継ぐ】



【授業の展開】

被災地ボランティア引率計画

- 1 目的
 - ・被災地の現状を見たり、住民に触れながら、被災地の方々の思いを理解し、ボランティアの心を養う。また、参加した生徒がボランティアの精神を全校に伝え、活発なアルミ缶回収などのボランティア活動につなげる。
- 2 日時 平成26年8月5日(火) 6:30~17:30
- 3 場所 陸前高田市気仙町字福伏22
- 4 交通手段 借上げバス2台(乗車人数90名)
- 5 引率 教員6名
- 6 活動内容
 - ② 語り部講話(陸前高田観光ガイド部会)…ガイド2名
 - ② 畑作り、花植え、草取り等(陸前高田カモメネット)…苗は持参
 - ③ 被災者との交流
- 7 参加生徒 生徒会執行部を中心とした85名の生徒
- 8 日程

時間	
6:30	滝沢中学校集合・出発
9:30	現地到着・語り部講話
11:00	作業開始
12:30	昼食(各自持参)
13:00	作業再開
14:30	作業終了・現地出発
17:30	滝沢中学校到着・解散

- 9 持ち物(略)
- 10 心構え

僕たち執行部が考えるのは、被災地ボランティアをしに行くのではなく、させてもらうという気持ちを持ち、させてもらえることを誇りに思い積極的に仕事を探し、最後まで心をこめてやりぬきましょう。



～生徒の感想～

○まだなにもないので、びっくりしました。今回のボランティアをさせていただいたことで、震災についての考え方が変わりました。

○僕たちが植えた花を見て、被災地の方が笑顔になってくれることを願って、これからも活動を続けたい。

○いち早く高台へ逃げることの大切さを学びました。

○身近にできるアルミ缶回収に積極的に参加し復興に貢献したい。



【まとめ】

前期の生徒会がPR活動・パネル展・現地ボランティア活動を実践して大震災の衝撃・希望・教訓を得ることができた。これらを、後期の生徒会が「引き継ぐ」ための会を企画運営し、今後の活動の決意表明を行う予定である。

この一連の活動を通して、風化を防ぎ次世代へ引き継ぎ手立てとしていきたい。